

若者が楽しく体験できる岡山城下町を創造するラボ

お世話になった連携先団体など

- 岡山商工会議所
- 岡山市表町商店街連盟
- 姫路商工会議所
- 山陽新聞事業社
- デザインユニットCOCHAE
- うらじゃ振興会
- 岡山うらじゃ連 楽鬼
- 岡山うらじゃ連 笑輝
- 岡山うらじゃ連 四季

ラボで解決に取り組んだ課題

おかやま桃太郎まつり「岡山城下山陽道物語」を通じて、子供や若者を中心とした岡山市民を対象として、岡山城下町にまつわる歴史文化に親しみ、周知する手段について調査研究する。



活動のあらましについて

クイズスタンプチーム



最初はクイズイベントとスタンプラリーで別々だったが、商工会議所の提案で合同企画に変更。クイズの出し方や難易度、スタンプのルートや景品の種類など、テーマや予算に沿った様々な案を出しては訂正し大変苦戦したが、当日には700人もの人々に参加してもらうことに成功した。

COCHAEチーム



デザインユニットCOCHAEとコラボし、オリジナルの妖怪折り紙を使ったワークショップを開催！絵柄や枚数、物販など多岐にわたり検討と打ち合わせを重ね、当日はCOCHAEさんと一緒に運営を行いました。お子様連れからシニア世代まで500名の方に楽しんでいただけたイベントに♪



うらじゃチーム



○企画

「うらじゃ」で表町商店街に若者を呼び込み大作戦!!

○実行

- イベントステージの運営
- 温羅化粧・衣装体験の実施



企画提案チーム

上記の3つのイベントでの成果をふまえて、岡山商工会議所に「岡山城下町活性化のための新しい企画」を提案することになり、①まちバル、②0円食堂、③城キャンプの3つの新企画を考案し、これらのイベントが城下町・表町商店街にもたらす効果について企画提案を行った。

1年間の活動の総括・成果について

岡山の歴史文化というテーマを生かしながら、若者が楽しめるイベントを創造するというテーマにチャレンジし、多くの外部団体とも連携しつつ、企画の難しさを体験しながらもイベントを成功させることができた。さらにその先の企画提案も実行できた。

所属学生15名 担当教員：鷲見哲男、本下真次
ポスター制作：赤沢日菜、朝倉快成、河合孝太、諏訪隆也、武本大和